

『どえーな補正予算のあと？』



◇一般会計

① しま共通地域通貨発行事業負担金 410万円

県内離島でプレミアム商品券を発行し、島外の観光客等の購買意欲を上げ消費につなげる事業で、商品券発行の準備作業に伴う経費負担金。



Q しま共通通貨の発行目標は。

A 全体で年間36億、壱岐では9億6千万円の商品券を発行目標とする。

※しまとく通貨…20%お得な商品券(5千円で6千円分の商品券が買える)

対馬、壱岐、五島、新上五島、小値賀、佐世保市宇久の6つの「しま」で発行するプレミアム商品券。島外からのお客様に利用して頂くというもので、壱岐の人は他5つの離島に行ったとき利用できる。詳しくは観光商工課 48-1111

② かたばる病院統合に要する経費 145万1千円

4月1日より、かたばる病院を壱岐市民病院へ統合するために必要なシステム改修費。

③ 市道維持補修事業 3,040万円

市幹線道路・生活道路の維持に係る修繕料等の増額。

④ ふれあい広場野外時計取替 110万円

グラウンドとテニスコートの間に両面ポール型の時計を設置。

⑤ 市営住宅改修事業費 640万円

石田町の大地・目坂・新中尾団地給水設備改修工事費

⑥ 郷ノ浦図書館空調移設費 220万5千円

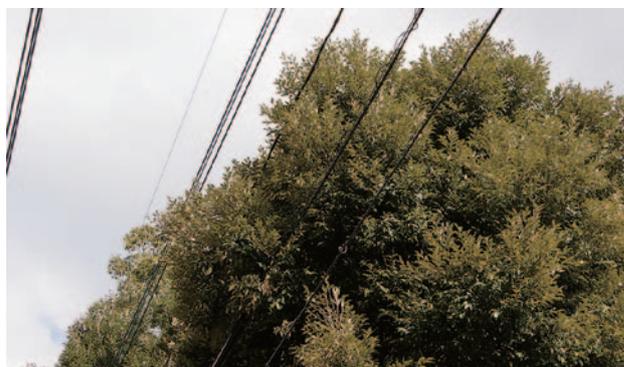
旧箱崎中学校から郷ノ浦図書館へ空調設備を移設する。

⑦ 住宅太陽光発電設備設置事業補助金 90万円

1件6万円を15件分増額

⑧ 光通信ケーブル網危険箇所等調査 156万9千円

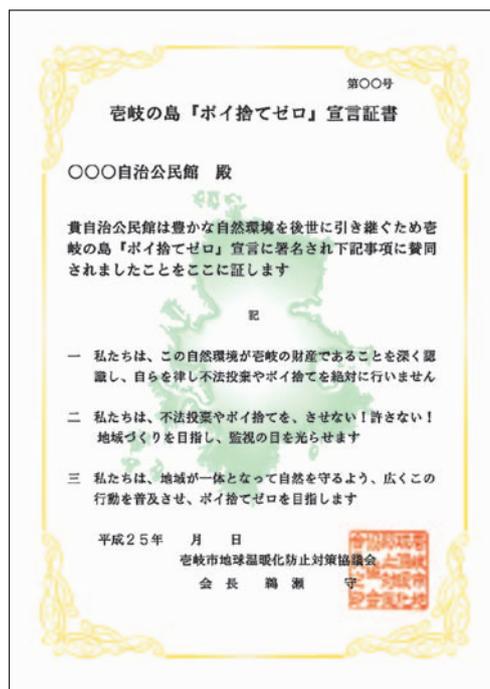
光ケーブル網(560km)の電柱・ケーブルを現地調査し、データ化・図面化で断線等が危惧される場所を把握する。



光ケーブル断線危険箇所

⑨ 清掃費 18万5千円

郷ノ浦町環境管理センターを平成24年度中に解体する事業説明のため、公害防止委員会を開催する際の委員報酬と、「壱岐の島ポイ捨てゼロ宣言」署名自治会への認定証代。



○H24. 一般会計、特別会計 補正予算額一覧

(単位：千円)

会 計 名		現予算額合計	12月補正予算額	補正後予算額合計
一	般 会 計	20,830,496	1,085,269	21,915,765
特 別 会 計	国民健康保険事業特別会計	4,862,910		4,862,910
	後期高齢者医療事業特別会計	306,594		306,594
	介護保険事業特別会計	3,026,838	780	3,027,618
	簡易水道事業特別会計	899,298	△ 13,560	885,738
	下水道事業特別会計	402,616	△ 14,711	387,905
	特別養護老人ホーム事業特別会計	453,214	△ 3,521	449,693
	三島航路事業特別会計	123,597	1,317	124,914
	農業機械銀行特別会計	130,045	△ 1,060	128,985
	合 計	10,205,112	△ 30,755	10,174,357
一般会計、特別会計の合計		31,035,608	1,054,514	32,090,122



『志岐の水道事業に注目』

平成24年12月会議で簡易水道事業関係の補正予算が上程されたが、水道の老朽管布設替え工事を年次継続的に行っている事業に対し各議員から質問が集中した。

Q 各町の漏水率は。

A 簡易水道の
平成23年度の年間給水実績では、郷ノ浦町48%、勝本町45%、芦辺町43%、石田町32%、全体で42%。



有水率…市が給水区域に配水した水量に対して、メーター検針によって料金対象となった割合。
漏水率…有効水とならなかった水で漏れ出したとみられる割合。

Q 漏水対策について聞く。

A 日常の監視強化はもちろん、今年度から専門的な漏水調査で高い精度で漏水箇所が特定されているので次年度も継続して取り組む。

Q 水道管の布設で一番古いのはどこか。

A 郷ノ浦町では初山東触で37年前、勝本町では本宮仲触の42年前、芦辺町では芦辺浦の34年前、石田町では石田西触の40年前である。



簡易水道・門野田浄水場(郷ノ浦町)

Q 水道管の耐用年数は。

A 公営企業法では40年だが、設計基準強度では40~50年とされている。

Q 半分は垂れ流しの状態で非常におかしい、国の補助メニューをどんどん活用すべき。

A 末端の道路、墓地など日頃行かない場所等、市民の方にも巡視して頂きたい。

Q 上水道の漏水率は。

A 平成23年度、34%。

Q 漏水が多いことは利用者に対してコストが掛かっている。優先される政策課題であり、政策評価を高めるべきだ。

A 今後、政策評価に漏水対策を上げて取り組んでいく。

※簡易水道とは、計画給水人口が5000人以下の供給区域での水道事業をいい、上水道とは計画給水人口が5001人以上の供給区域で、市内では郷ノ浦町の一部が該当する。